

学校をきれいにしてね。雑巾寄贈！

10月8日（木）、町シルバー人材センターは、女性会員が製作した手作り雑巾760枚を町内の小中学校へ寄贈しました。

中沖小学校では、会員を代表して岩切美知子さんが寄贈し、児童代表の佐藤温記さん（6年生）と岩本遥佳さん（6年生）、中村愛香さん（5年生）が受け取りました。

この雑巾寄贈は平成23年から始まり、今年で5年目を迎えます。女性会員を中心に手縫いやミシンで1枚1枚丁寧に作られています。



▲シルバー会員から児童へ手渡されました

英霊たちに心よりお祈りを捧げます



▲追悼のことばを述べる新田久亀夫さん

10月16日（金）、町慰霊塔（都萬神社）において、『大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式』が挙行されました。

追悼式には、戦争で家族を亡くされた遺族の方々や消防殉職者の遺族の方々など約90人が出席され、故人834名を偲びました。

遺族会代表の新田久亀夫さんは、「戦争は悲惨であります。遺児は私たちが終わりにしてほしい。」と述べていました。

なお、平成27年10月15日に戦後70年を記念して大崎町慰霊塔及び周辺の改修工事が実施されました。

大崎町に感謝を込めて～住宅を寄付～

10月16日（金）、貴島政邑さんと姉の植村昭子さんが役場を訪れ、植村医院跡地（旧貴島邸）を寄付してくださいました。

貴島さんは、「父の代から大崎町には大変お世話になりました。この物件を町のために有効に使ってください。よろしくお願いします。」と話され、東町長より感謝状を贈呈されました。

植村医院は、貴島幸雄さんが町民の健康増進と福祉の向上のために本町で開業し、植村芳郎さん・昭子さん夫妻が遺志を継ぎ尽力されました。



▲東町長と貴島政邑さん・植村昭子さん